

●前年度の取組及び本校の実態を踏まえた学力等に関わる成果と課題

| 成果 | 課題 |
|--|---|
| <p>○全体的に運動することを好み、学習意欲が高く、自主的に運動する児童が多い。</p> <p>○学校全体で体力向上に向けた取り組みを実施してきた結果、体力テストにおいては全国平均より高い結果が出ている。</p> | <p>○運動における基礎的な動きが十分に身に付いていない。</p> <p>○体力テストにおいて、長座体前屈(柔軟性)、ソフトボール投げ(瞬発力)、立ち幅跳び(瞬発力)などの種目に課題が見られる。</p> <p>○運動の仕方やルール工夫を考えられない。</p> |

●学年ごとの課題及び改善策等

| 学年 | 児童の実態及び指導上の課題 | 具体的な授業改善策 |
|-----|--|--|
| 1年生 | ○生活経験や生活習慣から、児童間の運動能力の差が見られる。特に体力テストでのソフトボール投げや上体起こしなどで多く見られる。 | ○どの児童も運動量が多くなるように、ルールを工夫し楽しんで運動できるようにしていく。 |
| 2年生 | ○生活経験や生活習慣から、器械・器具を使っの運動遊びをすると個人差が大きい。 | ○個人の力に合わせてめあて学習を行い、できる楽しさを味わわせる学習を行う。 |
| 3年生 | ○体力テストにおいて20mシャトルランでは個人差が大きい。 | ○運動量を確保できるような授業展開を設定する。 ○授業の導入で行う準備運動を工夫する。 |
| 4年生 | ○勝敗の結果などにこだわる児童が多い。公平な態度を養う必要がある。 | ○自分たちでルールを工夫したり、チームで協力したりする活動を増やして、仲間とかかわる力を身に付けさせる。 |
| 5年生 | ○よりよく運動するための気付きは多いが、それを学級全体に広げることができない。 | ○かかわり合う楽しさを味わえる学習活動を取り入れるとともに、ペアやグループ活動を充実させる。 |
| 6年生 | ○各運動の特性を理解していても、友達へ伝えたり表現したりすることができない。 | ○めあてを達成するための場や、練習方法を提示して選ばせ運動すると同時に友達と動きを見合い、教え合う場を設定する。 |

●学校全体で取り組む内容

| |
|--|
| <p>○運動量を十分に確保できる授業づくりをする。</p> <p>○めあてを明確にした学習を展開する。(ルールの工夫を考えたり、公正な態度を身に付けたりする。)</p> <p>○体力向上の取り組み(ジャンプアップ)を充実させる。</p> |
|--|